

いのちの祝祭

むらかみよしこ タペストリー展

私の魂は、姿を変化させて
億年を歩き来する。

吹く風になり白い雲になり、
また鳥になって歌い、
オオカミになって叫ぶ。

夢のように
とりとめもない長い記憶。

やがてぼくの出番だ。

あたたかくほの暗いトンネルを通りぬけると、
新しい世界の風が
全身に吹き付けてくる。

ぼくは最初の息を胸深く吸い込んだ

ぼくは最初の息を胸深く吸い込んだ

ぼくは最初の息を胸深く吸い込んだ

■46億年前に誕生した私たちの星。天地は変動を繰り返し、氷河期と温暖な気候が交互にやってきて、生き延びるすべを得たものたちが、いのちをつないできました。今この星はまさに命あふれる奇跡の星です。「いのちの祝祭」は作者のこれまでの作品とひとしく生命讃歌であり、「死と再生」の魂の旅路・いのちの記憶の物語になっています。中央には、今まさに生まれ出ようとする命を祝う場面。

太鼓の音が響き、精霊たちが踊り、火がばちばちとはぜている。命を産み出す母の喜びと生まれてくる命の初々しさ。そして命輝く自然の中には過去と未来の魂の記憶が宿っている。画面いっぱい躍動する命と草木の醸し出す夢幻色彩。新作5点を含む約20点を展示。羊毛の手紡ぎ・草木染・手織りの温かな感触をお楽しみください。

2015年 3月3日(火)~6月7日(日)

- 開館時間 午前9:30 ~ 午後5:00
- 休館日 月曜日(祝日は開館)
- 観覧料 一般400円 高校生200円 (中学生以下無料)
- アクセス 岡山から車で約90分
岡山空港から車で約70分
賀陽ICから車で約45分
新見ICから車で約30分
井倉駅からタクシーで約15分
方谷駅からタクシーで約10分



〒719-2552 岡山県新見市法曾609

TEL・FAX 0867-75-2444

<http://www.ifurai.jp/>

現代縄文アートの創始者である縄文造形家・猪風来(いふうらい)。猪風来美術館(新見市法曾陶芸館)では縄文野焼き作品をはじめ、法曾焼、絵画など、独自の縄文スパイラル造形による作品二百数十点を常設展示しております。

